

○現状と対策レポート（第1号）

課題1 世代を問わず感染が広がっている

- 対策 ①重症患者を最小限に抑える対策として、介護施設や病院など重症化リスクの高い方が多くいる施設における陽性患者の早期発見、早期介入などクラスター対策を実施し、感染拡大防止に取り組む。
- ②急速に感染拡大しているので、自宅療養も認めることで11月11日から札幌に限定して開始した。
- ③11月19日から市内で2か所目となるPCR検査センターを開設した。
- ④宿泊療養施設2棟合わせて1,000室確保している。（11月13日から、新たな宿泊療養施設を開設）

課題2 接待を伴う飲食店などを中心にクラスターの発生が多く見られる

- 対策 ①11月27日までを集中対策期間（11月7日～11月27日）として、営業時間の短縮などの協力を要請している。

課題3 特別養護老人ホーム（入所者100名規模）の高齢者施設などで、重症化リスクが高い人への感染が発生している

- 対策 ①クラスターが発生した時は、すぐに現地対策本部を立ち上げ、現地の状況、そこに入所されている方の病状をいち早く把握して、症状の重い方がいれば優先的に入院の措置をとっている。

課題4 コロナ対応の拠点となる市立札幌病院において、退院できる患者の受入病院がなく、後方支援病院の確保が急務となっている

- 対策 ①医療が必要な方は病院、若干経過観察が必要な方については宿泊療養、それ以外のリスクの低い方については自宅と、感染状況に応じてこの3段階に分けて実施していく。
- ②後方支援病院の確保に努めている。

課題5 介護が必要な陽性患者の受入先の確保に大変苦慮している

- 対策 ①入院病床に余裕を持たせるため、無症状、軽症の方などでリスクの低い方については自宅療養の対応を行っていく。
- ②介護が必要な陽性患者の受入先の確保に努めている。

課題6 自宅療養者が多くなってきており、症状が急変した時の相談先や診療先が見つげづらい

- 対策 ①相談先として救急安心センター（#7119）への案内を新たに開始した。
- また、オンライン診療の周知を検討するなど、医療機関の負担軽減を図っていく。